

首都圏新都市鉄道株式会社

代表取締役社長 高橋伸和様

つくばエクスプレスの利便性向上に係る  
要望書

流 山 市  
柏 市  
つ く ば 市  
守 谷 市  
つ く ば み ら い 市

つくばエクスプレスが開業し、まもなく2周年を迎えようとしており、利用者数も当初計画を上回る実績をあげております。

これもひとえに、貴社の地域住民の利便性向上に対する多大なるご努力の賜物とご推察申し上げます。

今後、魅力あるまちづくりを進めていくためにも、また、利用者の継続的確保のためにも、鉄道利用サービスの更なる利便性向上や安全性確保が不可欠と考えますので、以下の3点について要望致します。

#### (1) 電車の増便などによる運行ダイヤの改正

利用者の増加に伴い、ピーク時の電車内の混雑は激しさを増しているのが現状です。利用者からは、朝夕のピーク時の混雑緩和のみならず平日昼間の増便や、最終電車の延長を求める声が多く聞かれています。

また、つくばエクスプレス沿線の区画整理事業区域における、定住化の促進や企業誘致にとっても、混雑緩和による快適性や利便性の向上と、運行の安全性や定時性を保つための輸送力増強は、欠かせない重要な要因であると考えます。

こうした状況から、乗務員の増員や車両整備の能率向上を図り、現有車両による効率的な運行を検討して頂き、朝夕のピーク時の混雑率

緩和や平日昼間と深夜帯の増発、最終電車の発車時刻延長などを含む運行ダイヤの改正を強く要望致します。

## (2) つくばエクスプレスの東京駅延伸及び東京駅延伸構想の公表

つくばエクスプレスの利用者数は、平成 19 年 4 月実績で約 23 万人と順調に推移しております。今後、利用者の更なる増大のためには、沿線自治体と鉄道事業者が一体となり、沿線の住宅需要の喚起や観光資源の開発などを積極的に推し進めていくことが必要であると考えます。

沿線自治体では、区画整理事業の促進や各種イベントの継続的な開催などにより、魅力あるまちづくりを推進し、鉄道利用者の増加に寄与するために精励しているところであります。

貴社におかれましても、1 日当たり 27 万人という目標利用者数の早期確保を図るとともに、沿線地域とつくばエクスプレスのイメージアップのため、全国鉄道ネットワークへの接続駅である東京駅への延伸構想を早期に公表され、また、東京駅延伸の早期実現に努められるよう要望致します。

### (3) 運行業務における改善と安全性の確保

昨今、鉄道事業のみならず各公共交通機関において、運行システムの障害や人為的事故、施設構造上の問題に起因する事故等が度々発生しております。

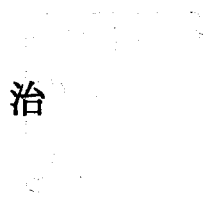
つくばエクスプレスは、全駅にホーム柵が設置されているほか、最新の列車制御システムが導入されるなど、開業当初より安全、正確な運行が利用者から厚い信頼を得ております。

今後とも、その信頼を揺るがせることのないよう、運行システム・車両などの点検はもとより、日常業務なども含めた社員への安全教育と、災害・事故等の事態に備えた訓練などを徹底されることにより、運行業務における更なる向上と、安全性の確保を図られますよう要望致します。

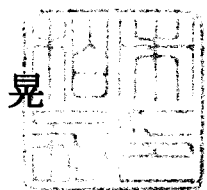
今回の要望事項については、鉄道事業及び沿線地域の総合的な価値向上を目指しているものでありますので、本要望の趣旨をご理解のうえ、鋭意ご尽力頂きますようお願い申し上げます。

平成19年6月27日

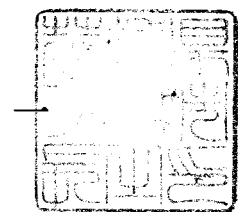
流山市長 井崎 義治



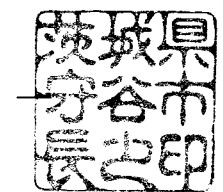
柏市長 本多 晃



つくば市長 市原 健



守谷市長 会田 真



つくばみらい市長 飯島 善

